2019.6

しが 県博協だより

第31号　　滋賀県博物館協議会

しが県博協だより第31号は、県博協の記念事業委員会主催のシンポジウム「道の国・近江の魅力発信！！～街道文化を今に伝える博物館～」の他、昨年度開催した２回の研修事業「基礎から学ぶファシリティレポート「美術館における作品貸借について」」及び「資料（仏像）の取り扱い及び梱包について」、平成30年度永年勤続者等表彰事業の報告、あわせて昨年度本協議会に新規加盟した館の紹介を掲載いたします。

滋賀県博物館協議会
記念事業シンポジウム実施報告

**「道の国近江の魅力発信！！
～街道文化を今に伝える博物館～」**

日　時：平成 30 年（2018）10 月 28 日（日）
14:00～15:30（終了後に本陣見学会を実施）
開　場：史跡草津宿本陣　西広間
参加者：62 名
（一般 54 名、県博協関係者 8 名）
参加館：11 館
（講師所属館、記念事業委員、広報委員、事務局含む）

パネリスト：大角 淳子（大角家住宅 旧和中散本舗）
駒井 文恵（甲賀市土山歴史民俗資料館 係長）
谷口 徹　（米原市柏原宿歴史館 館長）
八杉 淳　（草津市立草津宿街道交流館 館長、滋賀県博物館協議会 会長）

・概要

滋賀県には街道が縦横に走り、有史以前から交通の要衝として栄えた歴史があります。本事業ではその特色を活かし、街道筋に所在する４つの博物館施設の担当者にその地域ならではの魅力や独自の取り組み、共通の課題等について、滋賀県の街道の代表である草津宿本陣を舞台に語り合っていただきました。

○地域と協働した取り組み

柏原の古い住宅には、漆工芸品がたくさん保管されています。そこで、地元の方を対象に漆器の取り扱いについて講座を行い、活用してもらえるように努めました。（谷口）

登壇された４名の講師

甲賀市では土山町山内地域で、高齢者の記憶を絵にする「ふるさと絵屏風」事業と、民具を組み合わせた取り組みを、市民団体「山内エコクラブ」とともに市民協働事業として行っています。（駒井）

国の名勝指定の小堀遠州の庭園にカキツバタ、サツキが咲く時期の土日はオープンしています。また、秋のお彼岸の頃も予約なしで土日にオープンしています。この時は栗東のボランティアガイドさんに来てもらっています。（大角）

ボランティアの方の力というものは、博物館の後押しになっています。こういった方たちと連携していくのも一つの手かなと思います。（八杉）

○街道沿いの施設としての特色・強み

みなくち自治振興会が東海道水口宿盛り上げ事業を行っており、そこに関わらせていただいています。また、水口曳山祭で使う 16 基の曳山を大切にしていきたいという地元の若い方たちが曳山の勉強会を開き、文化財的な価値について職員がお話をさせてもらいました。（駒井）

街道沿いの強みとしては、日常的に人が歩いてい

るということです。ただ、柏原の資料館は靴を脱がなければならないため、ウォーキングが主目的でしっかり靴を履いておられる方は中まで入ってこられません。（谷口）

旅行会社の企画などでも表だけで靴を脱いで中まで入ってこられることは少ないです。中には電車の時間を遅らせても見たいということで、一人が入ったら全員が入ったということもありましたが。古いものを見てもらおうと過去帳を出しておいたことがありますが、破られてしまったことがありまして、博物館に預けたという経験があります。（大角）

資料の公開・活用というものの裏に、課題として保存というものがあります。見ていただいて、活用していただくというのが昨今の流れですが、数百年守り伝えられてきたものをこれからも残していかなければならないという思いもあります。（八杉）

○資料の活用と保存

従来はきちんと保存し、ガラスケースに収めておかなければならないと思っていましたが、ものによっては触れてもいいじゃないかという思いもあります。敢えて展示室の動線の中で作品の撮影をしたり、漆の手入れをしたりしています。（谷口）

お子さんをターゲットにした事業も行っていますが、広い空間はお子さんが走ったりします。傷むということも考えていかなければなりませんが、それ以上にお子さんたちに本陣を知ってもらいたいという思いもあります。子供たちが大きくなった時に草津には宿場があり、本陣があったということを知ってもらったら、今やっている事業が次世代につながっていくのかなと思っています。（八杉）

○宿場に残る資料について

柏原宿には万留帳というものがあります。現在、それを皆さんに読んでいただけるように翻刻しています。江戸時代というのは記録の時代で、たくさんの資料が残っています。それを活字化することで、皆さんの勉強にもなるし、我々もいろいろな切り口で情報を出していけます。（谷口）

土山家本陣には計 17 冊の宿帳があります。それを撮影し、統計を取っています。その中には、勝海舟や篤姫といった有名人の名前も現れます。また、土山家ゆかりである肥後の細川家のことだけを別に記した宿帳もあり、これには何を食べたかも詳細に書かれています。これを元に、その時に食べられた食事のレプリカも作りました。（駒井）

草津の本陣も大福帳という宿帳があり、今年度から調査を始めました。また、草津宿本陣の宿帳だけではわからなかったことが、土山の宿帳や石部の宿帳などと合わせて見ることで、宿場の経営などが鮮明にわかってくるのではないかと思います。（八杉）

○各館で抱えている課題について

今は待っているだけでは駄目です。ならば、こちらから出向いていけば良いのではないかということで、いろいろと出ていかせていただいています。先日は土山の宿場まつりで、土山出身の乗り物絵本作家・安井小弥太さんの原画をお持ちの方がおられまして、これを中央公民館で展示するお手伝いをさせてもらいました。（駒井）

宿場というのは、共通点とそれぞれ個別の事柄があります。このような宿場の共通点は、他の宿場ではどうだったか。同時に、地場産業的なものがあります。このような共通点や違いを展示していこうと思うと、一つの館では絶対無理です。このような課題を分館構想という形で解決していけたらと思っています。（谷口）

草津で課題と思っておりますのは、次代を担う子供たちにもっと興味をもってもらうような取り組みが必要ではないかということです。文化財を受け継いでいくには、若い力、子供たちの思いも大切にしていかなければならないと思います。（八杉）

○これから近江の街道の魅力をどう発信していくか

街道には共通点をもつ資料がいろいろあります。それが比較できるような作品の貸し借りをして、分析をしていくということができます。そうすると、ひとつの資料館だけではわからなかったことがいろいろわかるようになります。オリジナルな部分はオリジナルな部分として強調して出していく。館同士の連携というのをこれからますますやっていかなければならないと思っています。（谷口）

館同士の連携は非常に大事だと思います。比べるものが多ければ多いほどよくわかってくるということがあります。小さなことからでも連携を進めていけたらよいと思います。（駒井）

私のところは個人の家ということですが、極力皆さんのご要望にお応えできるようにしていきたいと思っています。（大角）

全国街道交流会議の中で、街道沿いの資料館が街道資料ネットワークというものを構築しようとしています。これは、街道関係の資料を難しい手続きを経ずにお互いに貸し借りをしながら街道をアピールできればという思いで平成 26 年に立ち上げた組織です。一つの館で知恵を出すより、二つ、三つ、四

座談会終了後の草津宿本陣・見学会の様子

つということで、もっといいアイデアが出てくるだろうと思いますし、街道というラインがありますので、東海道、中山道全体が資料館となるようにお互いに情報交換し、それぞれの魅力を合わせ持つことで大きな魅力となって近江というものを発信できればと思っています。そういう意味でも博物館に連携は重要になってくると思います。（八杉）

地域と密着した博物館の積極的な取り組みと、同じテーマを有する館に共通した課題について認識を共有することができました。パネリストからは、展示や企画の充実のために館同士の連携が必要になってくるとの発言がありましたが、今後各館の取り組みを広げていくためにも、共通の課題を克服するためにも、連携というキーワードは今後より重要になってくると感じました。

（滋賀県立近代美術館　和澄 浩介）

平成30年度 研修事業実施報告

第１回研修事業
「基礎から学ぶファシリティーレポート
―美術館における作品貸借について―」

講　師：相澤邦彦氏
（兵庫県立美術館 保存・修復グループ学芸員＊）
日　時：平成 30 年（2018）11 月 19 日（月）
13：30～16：30
場　所：彦根城博物館　講堂
参加者：28 名
（事務局２名、研修委員８名）
参加館：20 館

趣　旨：
１．はじめに－今回の研修会の狙い
ファシリティーレポートは、作品貸借に関する美術館・博物館の施設概要を記載した文書で、海外では貸与の可否を判断する際に活用されています。近年日本でも借用申請の際に提出を求められる機会も増えてきました。しかし、施設概要との相違点や記載事項、記入方法など作成の際に当惑することも少なくありません。こうした現況を踏まえ、全国美術館会議の保存研究部会幹事の相澤氏を講師に迎え、ファシリティーレポート作成に関する、考え方について実例を交えながらお話戴きました。

２．施設概要との相違点
作品の安全な貸借を前提としていることが、施設概要との大きな相違点。ファシリティーレポートの目的は、貸与を希望する美術館・博物館が、所蔵館（者）に作品（資料）の保全に関わる情報を提示して、自館の安全性を証明することにあります。外観デザインなど作品の保全に関わらない情報は不要。

講師の相澤邦彦氏

建物自体と組織が信頼しうることを、虚偽なく反映させなければなりません。誰がいつ、どのような環境のもとで、輸送・展示・保管するのか。内容については、最低限かつ最大限の項目を盛り込み、簡潔明瞭に記入する必要があります。

３．内容：記載事項について
記載事項は概ね建物と環境、そして防犯防災や組織に大別されます。建物に関しては、日本では耐震構造（ほか台風・高潮・大雪への耐性）が最も重要。展示室及び収蔵庫の床（導線を含む）と壁の耐荷重はどれ程か。温湿度は適正値が維持されているか。適切な照明機材で素材に応じた調整が随時可能か。平面図に搬入経路（導線）が示され、作品の移動に支障がないか。学芸員数やレジストラー（登録管理）、コンサヴァター（修復保存）担当の有無、そして借用実績など組織の対応能力を提示する必要があります。

４．日本版の試作－イギリスとアメリカを例に
イギリスを例に挙げると、質問に答える形式で16ページに及びます。ロイズに象徴されるように保険制度が発達した国であり、もとは損害賠償保険との関係から整備されたようです。アメリカでは多くの館でＡＡＭ（アメリカ博物館協会）様式が運用されていますが、イギリスよりもさらに厳しい内容かもしれません。全国美術館会議の保存研究部会の日本版は、ＡＡＭ様式を基本に圧縮した試作ですが、それでも20ページほど。個別の事情に応じた選択改変を前提としているため、実際には不要な項目も多い内容であるとのこと。

５．まとめ－相互理解を促すツールとして
作成に際しては貸借は相互の信頼関係の上に成立することを心掛けた、誠実な報告書でなければなりません。また、貸借が前提であるため、基本的に条件が変わる都度、更新する必要があります。当日は相澤氏が担当された、海外への貸与事例もお話し戴きました。実情が異なる海外の美術館との交渉で、

研修会の様子

根気強く保存意識の重要性を説く相澤氏の要請に、精一杯誠心誠意応えようとする借用館の姿勢。こうした信頼関係の構築と相互理解こそが、ファシリティー・レポートが本来もつ、最も重要な意義であると感じられました。

＊所属名は当時（現：金沢21世紀美術館コンサベーター）

（滋賀県立陶芸の森　鈎 真一）

第２回研修事業
実技講習会「資料（仏像）の取り扱いおよび梱包について」

日　時：平成 31 年（2019）3 月 14 日（木）
　　13：30～16：40
場　所：大津市歴史博物館
参加者：22 名
（事務局２名、研修委員７名）
参加館：17 館

概　要：

博物館・美術館の中で、資料（作品）の保存管理、調査、展示などは業務の中核をなし、その中で資料を安全に取り扱う役目を担うのが学芸員です。また、資料の梱包は常に破損の危険を伴うため、特に注意を要する必要があります。これらの資料を取り扱う技術は欠かせないスキルであるため、常に向上をはかる必要がありますが、館によって収蔵方針は異なり、学芸員自身もそれぞれの専門分野や業務内容によって普段全く触れる機会のない分野の資料もあります。このことから、本研修委員会では、定期的に、様々な分野を取り上げて、各館職員のスキルアップのための資料取り扱い講習を実施しています。

今回の講習会開催にあたって県博物館協議会加盟館へ事前アンケートをおこなったところ、仏像彫刻の取り扱いと、巻子・軸物の取り扱いへの希望が多く上がり、この中から仏像の取り扱いと梱包についての講習を実施することとしました。講師は、仏教美術に関する展覧会を数多く開催し、仏像調査の実績も豊富な大津市歴史博物館学芸員の寺島典人氏と、美術品等の輸送・展示作業を専門とするヤマトグローバルロジスティクスジャパン株式会社の小林謙治氏と小川健史氏にお願いしました。

講義「仏像の取り扱いと梱包」寺島典人氏（大津市歴史博物館 学芸員）

仏像の取り扱いの中で、触るとき、梱包するとき、輸送するときのそれぞれの注意点について、実際の仏像やレプリカを示しながら基礎的なところから講義をしていただきました。

・仏像を触るときには、その材質や構造などをよく確認したうえで、木像の場合は矧ぎ目（木と木の接合部）に注意する。動かす際には、体幹部材を持ち、腕や裳先などの薄く細かいところには触れないようにすること。
・梱包するときは、構造上はずれそうなところや表面の剥落などの危険性があるところを、懐中電灯で光を当てながら事前によく確認すること。
・調査や梱包作業のために、仏像周囲に近づくときが最も危ないので注意すること。
・梱包の際は、薄葉紙をくしゃくしゃにしてあて、像へのあたりはソフトにし、固定は像が動いてずれることのないよう、タイトにすること。

以上のように、事前に把握すべきところ、脆弱なため触れないようにするところなどを確認した上で、梱包・輸送時に想定される状況を例にあげながら、実際に薄葉紙や綿布団のあて方など、細かく解説をおこなっていただきました。また、緊急的に装備の少ない中で対応しなければならない場合など、各館でおこりえる状況も想定した具体的な例も言及されました。仏像は特に取扱いが難しく、不慣れなものによる無理は禁物であるため、「自信がない場合はやめること。ただ、取り扱いができるようになれば館の展示の幅も広がります」と述べられていました。

実演「仏像の取り扱い方・梱包」　ヤマトグローバルロジスティクスジャパン株式会社

専門業者として普段実際におこなわれている仏像輸送のための梱包の手順について、実演を含めつつ解説を受けました。仏像の手先、頭部という特に注意を要する部分の基本的な梱包手順を確認し、輸送のために仏像全体を安全に固定する方法を学びました。

実習「仏像サンプル（手先、頭部）の梱包」

寺島氏、小林氏、小川氏に指導を受けながら、研修用の仏像サンプルの手先と頭部を用いて、２～３人に分かれて、参加者が実際に梱包をおこないました。薄葉紙のあて方を改めて確認しながら、指先など注意深く梱包すべきところを意識して作業することができました。

サンプル（仏像頭部）を利用した梱包実習

実演「立像の梱包方法」　ヤマトグローバルロジスティクスジャパン株式会社

サンプルの立像を用いて、台座から外したのち、担架に固定して、段ボール箱へ収めるまでの梱包の手順を実演していただきました。構造上外れてしまう細々とした箇所は事前に外して、別途梱包することや、損傷がある場合の注意点など解説を受けながら、一連の流れを把握することができました。肩部など構造上強い部分で固定し、エサフォーム・綿布団・薄葉紙などを用いて、固定の際の圧力が脆弱な部分にあたることがないよう調整する際には、固定の強度を確認するため、参加者も実際に作業の補助をおこないました。

立像の梱包の様子

仏像彫刻の取り扱いについては、特に慎重に扱わなければならないため、各館で専門の学芸員がいれば任せきりになり、また得意とする学芸員がいない場合は取り扱うことがほとんどないというのが実情かと思います。しかし、取り扱う機会が全くないというわけでもなく、特に公立の館であれば緊急を要する調査や災害時などに対応が必要になる場合もあるでしょう。また、今回は、学芸員と美術輸送専門業者それぞれの視点からの解説がありましたが、実際の展示作業では、学芸員が指示を出しながら、美術輸送専門業者の方が作業を担うことが多く、作業員の方がどのような視点で作業にあたられているかも大変参考になることでした。今後も、各館からの要望の多かった絵画や美術工芸品の取り扱いをはじめ、資料取り扱いの講習を定期的に実施していければと思います。

（大津市歴史博物館　福庭 万里子）

平成30年度 永年勤続者等表彰

平成 30 年度は、公益財団法人 深尾理工教育振興財団と栗東歴史民俗博物館市民学芸員の会の２団体が「博物館等の事業に対し顕著な功績のあった者」として表彰されました。

公益財団法人 深尾理工教育振興財団は、大津市科学館が開催する子ども向け事業を、17 年間にわたり、共催団体として支援してこられました。特に、「わくわくサイエンス」や「サイエンス屋台村」においては、実施にかかる経費をご負担いただき、科学館での事業の推進にご尽力いただきました。これらの事業に参加した子ども達の科学への興味関心を高め、科学好きな子どもの育成に、多大な貢献をしていただきました。

栗東歴史民俗博物館市民学芸員の会は、自主的な学習を進めるだけでなく、「昔のくらし」などの博物館事業のサポートをしていただくとともに、鉄道模型コレクションの調査・整理を進め、その成果として展覧会も実施されました。また、博物館との共催事業である、市民向け公開講座では、テーマや講師の選定などに積極的に関わっていただき、より多くの方が地域の歴史や文化を学ぶ機会の提供に寄与していただいています。これらの取り組みは、栗東歴史民俗博物館の基本方針である「住民に活用される開かれた博物館づくり」に寄与するものであり、大きな功績であると言えます。

（事務局・草津市立草津宿街道交流館
岡田　裕美）

新規加盟館紹介

近江八幡市立資料館

郷土資料館全景

所 在 地　〒523-0871　近江八幡市新町 2-22
電話番号　0748-32-7048
ＦＡＸ　0748-32-7051
ホームページ
http://www.city.omihachiman.shiga.jp/contents_detail.php?co=kak&frmId=45
休館日　月曜日、祝日の翌日、年末年始。ただし、5・6・10・11 月は休館日なしで開館（要事前確認）。
開館時間　9:00～16:30（入館は 16 時まで）
入 館 料　一般 500 円　小・中学生 250 円（3 館共通入館券）
交通案内　JR 琵琶湖線「近江八幡駅」下車、近江鉄道バス「長命寺」行で、「小幡町資料館前」下車、徒歩約２分／名神「竜王 IC」か「八日市 IC」で下り、近江八幡市街方面に。また、国道８号線の場合「東川」か「友定」の信号を近江八幡市街方面に。湖周道路の場合は、「湖岸白鳥川」か「渡合橋北詰」の信号を近江八幡市街方面に。
駐 車 場　無し。近くに市営駐車場有（有料）。

館の概要
３施設による、八幡商人を今に伝える資料館

昭和 49 年（1974）に開館した近江八幡市立資料館は、伝統的建造物群保存地区である新町通の一角に立地する。郷土資料館は、明治 19 年（1886）建築、昭和 28 年（1953）改修した旧八幡警察署を利用している。改修はヴォーリズ建築事務所が担当しており、外観・内装にヴォーリズ建築独特の意匠がみられる。これらの意匠を残しながら、平成 30 年 4 月にリニューアルオープンした。

同館では、八幡山城・城下町に関する遺物や歴史資料、江戸時代の八幡町や八幡商人に関する史料を展示している。

併設する歴史民俗資料館では商家の帳場風景を再現し、町衆の生活道具等を展示している。

また、新町通り沿いにある重要文化財旧西川家住宅もあわせて見学できる。旧西川家住宅は、江戸に出店を持ち畳表や蚊帳を扱った八幡商人のひとり、西川利右衛門家の本宅である。主屋は宝永 3 年（1706）建築で、切妻造、瓦葺で一部２階建である。建物の北側は「店土間」「玄関土間」「台所土間」と続く通り土間で、店土間の行側に板の間の店を設ける。玄関土間・台所土間の南側に居室を設け、その南側に座敷部を突出して設けている。庭に建つ土蔵は天和年間（1681～1683）の建築で、全国的に見ても珍しい３階建の造りである。

（近江八幡市総合政策部文化観光課　吉川智文）

【編集後記】

世間では、「平成最後」という言葉を良く耳にしましたが、平成30年度は、節目の年にふさわしく、記念事業委員会による魅力あるシンポジウムが実施されました。また研修委員会は、加盟館のスキルアップに繋がる事業を企画・実施しました。そして、広報委員会ではWebページのリニューアル化を図り、広く県民のみなさまに活動を知っていただくためのツールを整備できたと思います。

一方で、今年度の研修事業が加盟館向けの事業であったため、県博協の活動を県民の皆さまに知っていただく機会が少なくなったことも事実です。今後は、Webページの活用を中心に、県民の皆さまに向けたアピールを展開していく所存です。

その活動の一つに、毎日新聞誌面上にて「名品手鑑」という連載を隔週で行っています。名品を通して各加盟館の魅力を伝えるこの連載も、おかげ様で今年度中を持って終了となりますが、委員会では新たな連載を企画中です。引き続きご協力を賜りますよう、何卒宜しくお願いいたします。

最後に、委員一同、県博協が加盟館のみなさまにとっての活発な交流・活動の場となるよう取り組んで参りますので、さらなるご支援ご協力またご意見などをお寄せくださいますようお願い申し上げます。

（広報委員・観峰館　寺前 公基）

しが県博協だより　第31号
令和元年(2019年)　6月27日発行
編集・発行　滋賀県博物館協議会
〒525 - 0034草津市草津3丁目10 - 4
草津市立草津宿街道交流館内
TEL 077-567-0030
URL　http://sam.shiga.jp/

2019 年度滋賀県博物館協議会　加盟館名簿

2019 年 5 月 26 日現在

会　員　館　名	郵便番号	住所	TEL	FAX
近江神宮時計館宝物館	520-0015	大津市神宮町 1-1	077-522-3725	077-522-3860
大津市歴史博物館	520-0037	大津市御陵町 2-2	077-521-2100	077-521-2666
大津絵美術館	520-0036	大津市園城寺町 33 番地　総本山円満院門跡	077-522-3690	077-522-3150
長等創作展示館・三橋節子美術館	520-0035	大津市小関町 1-1	077-523-5101	077-523-5101
大津祭曳山展示館	520-0043	大津市中央 1-2-27	077-521-1013	077-521-1013
滋賀県立琵琶湖文化館	520-0806	大津市打出浜地先	077-522-8179	077-522-9634
渡来人歴史館	520-0051	大津市梅林 2-4-6	077-525-3030	077-525-3450
公益財団法人　膳所焼美術館	520-0837	大津市中庄 1-22-28	077-523-1118	077-523-1118
建部大社宝物殿	520-2132	大津市神領 1-16-1	077-545-0038	077-545-2438
滋賀県立近代美術館	520-0807	大津市松本 1-2-1　滋賀県大津合同庁舎 5Ｆ	077-522-2111	077-522-2188
田上郷土史料館	520-2112	大津市牧 1-8-32	077-549-0369	077-549-0369
田上鉱物博物館	520-2275	大津市枝町 3-8-4	077-546-1921	077-546-1921
木下美術館	520-0016	大津市比叡平 2-28-21	077-575-1148	077-575-1148
比叡山国宝殿	520-0116	大津市坂本本町 4220	077-578-0001	077-578-0678
伊香立「香の里史料館」	520-0352	大津市伊香立下在地町 1223-1	077-598-2005	077-598-2005
大津市科学館	520-0814	大津市本丸町 6-50	077-522-1907	077-522-2297
草津市立草津宿街道交流館	525-0034	草津市草津 3-10-4	077-567-0030	077-567-0031
守山市ほたるの森資料館	524-0051	守山市三宅町 10 市民運動公園内	077-583-9680	077-583-9680
守山市立埋蔵文化財センター	524-0212	守山市服部町 2250	077-585-4397	077-585-4397
滋賀県立琵琶湖博物館	525-0001	草津市下物町 1091	077-568-4811	077-568-4850
佐川美術館	524-0102	守山市水保町北川 2891-44	077-585-7800	077-585-7810
栗東歴史民俗博物館	520-3016	栗東市小野 223-8	077-554-2733	077-554-2755
国指定重要文化財「大角家」住宅旧和中散本舗	520-3017	栗東市六地蔵 402	077-552-0971	077-552-0971
湖南市東海道石部宿歴史民俗資料館	520-3116	湖南市雨山 2-1-1	0748-77-5400	0748-77-5401
菩提寺歴史文化資料室（菩提寺まちづくりｾﾝﾀｰ内）	520-3248	湖南市菩提寺西 4-2-12	0748-74-3471	0748-74-4005
びわ湖アートギャラリー	524-0292	野洲市吉川 4187　鮎家の郷内	077-589-3999	077-589-4806
野洲市歴史民俗博物館(銅鐸博物館)	520-2315	野洲市辻町 57-1	077-587-4410	077-587-4413
甲賀市水口歴史民俗資料館	528-0005	甲賀市水口町水口 5638	0748-62-7141	0748-63-4737
みなくち子どもの森自然館	528-0051	甲賀市水口町北内貴 10	0748-63-6712	0748-63-0466
甲賀市土山歴史民俗資料館	528-0211	甲賀市土山町北土山 2230	0748-66-1056	0748-66-1067
甲賀忍術博物館	520-3405	甲賀市甲賀町隠岐 394	0748-88-5528	0748-88-2108
甲賀流忍術屋敷	520-3311	甲賀市甲南町龍法師 2331	0748-86-2179	0748-86-7505
甲賀市甲南ふれあいの館	520-3321	甲賀市甲南町葛木 925	0748-86-7551	0748-86-7551
甲賀市信楽伝統産業会館	529-1851	甲賀市信楽町長野 1142	0748-82-2345	0748-82-2551
滋賀県立陶芸の森　陶芸館	529-1804	甲賀市信楽町勅旨 2188-7	0748-83-0909	0748-83-1193

MIHO MUSEUM	529-1814	甲賀市信楽町田代桃谷 300	0748-82-3411	0748-82-3414
滋賀サファリ博物館	529-1802	甲賀市信楽町黄瀬 2854-2	0748-83-0121	0748-83-0122
かわらミュージアム	523-0821	近江八幡市多賀町 738-2	0748-33-8567	0748-33-8722
滋賀県立安土城考古博物館	521-1311	近江八幡市安土町下豊浦 6678	0748-46-2424	0748-46-6140
近江八幡市立資料館	523-0871	近江八幡市新町 2 丁目 22	0748-32-7048	0748-32-7051
近江日野商人館	529-1603	蒲生郡日野町大窪 1011	0748-52-0007	0748-52-0172
近江日野商人ふるさと館「旧山中正吉邸」	529-1628	蒲生郡日野町西大路 1264	0748-52-0008	0748-52-3850
世界凧博物館東近江大凧会館	527-0025	東近江市八日市東本町 3 番 5 号	0748-23-0081	0748-23-1860
木地屋民芸品展示資料館（木地師資料館）	527-0201	東近江市蛭谷町 176	080-8306-6470	
日登美美術館	527-0231	東近江市山上町 2068-2	0748-27-1707	0748-27-1950
東近江市近江商人博物館・中路融人記念館	529-1421	東近江市五個荘竜田町 583	0748-48-7101	0748-48-7105
観峰館	529-1421	東近江市五個荘竜田町 136	0748-48-4141	0748-48-5475
滋賀県平和祈念館	527-0157	東近江市下中野町 431 番地	0749-46-0300	0749-46-0350
手おりの里、金剛苑	529-1204	愛知郡愛荘町蚊野外 514	0749-37-4131	0749-37-4131
愛荘町立歴史文化博物館	529-1202	愛知郡愛荘町松尾寺 878 番地	0749-37-4500	0749-37-4520
愛荘町立愛知川びんてまりの館	529-1313	愛知郡愛荘町市 1673	0749-42-4114	0749-42-8484
豊会館	529-1174	犬上郡豊郷町下枝 56	0749-35-2356	
多賀町立博物館	522-0314	犬上郡多賀町四手 976-2	0749-48-2077	0749-48-8055
ダイニックアストロパーク天究館	522-0341	犬上郡多賀町多賀 283-1	0749-48-1820	0749-48-1961
彦根城博物館	522-0061	彦根市金亀町 1-1	0749-22-6100	0749-22-6520
米原市醒井宿資料館	521-0035	米原市醒井 592	0749-54-2163	
醒井木彫美術館	521-0035	米原市醒井 95	0749-54-0842	0749-54-0842
米原市柏原宿歴史館	521-0202	米原市柏原 2101	0749-57-8020	0749-57-8020
伊吹山文化資料館	521-0314	米原市春照 77	0749-58-0252	0749-58-0252
国友鉄砲の里資料館	526-0001	長浜市国友町 534	0749-62-1250	0749-62-1250
長浜市長浜城歴史博物館	526-0065	長浜市公園町 10-10	0749-63-4611	0749-63-4613
成田美術館	526-0056	長浜市朝日町 34-24	0749-65-0234	0749-65-0234
長浜市曳山博物館	526-0059	長浜市元浜町 14-8	0749-65-3300	0749-65-3440
冷水寺胎内仏資料館	529-0251	長浜市高月町宇根 308-1	0749-85-3209	0749-85-3209
湖北野鳥センター	529-0365	長浜市湖北町今西	0749-79-1289	0749-79-8022
竹生島宝厳寺宝物殿	526-0124	長浜市早崎町竹生島 1664-1	0749-63-4410	
布施美術館	529-0205	長浜市高月町唐川 339	0749-85-2363	0749-85-2363
ヤンマーミュージアム	526-0055	長浜市三和町 6-50	0749-62-8887	0749-62-8780
白谷荘歴史民俗博物館	520-1837	高島市マキノ町白谷 343	0740-27-0164	0740-27-1000
高島歴史民俗資料館	520-1111	高島市鴨 2239	0740-36-1553	0740-36-1554